

第35回

パソプレシン・ オキシトシン研究会 プログラム・抄録集

日 時 令和8年1月10日(土) 13:00~17:20

会 場 東京大学 山上会館

当番世話人 上田陽一

産業医科大学 学長研究室

事務局 第35回パソプレシン・オキシトシン研究会事務局

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学 医学部 第1生理学

TEL:093-691-7420

FAX:093-692-1711

E-mail: avpoxt35@mbox.med.uoei-u.ac.jp

第35回 バソプレシン・オキシトシン研究会学術集会 日程 令和8年1月10日(土)

[1] 開会の辞	13:00 ~ 13:05	代表世話人 有馬 寛
[2] 一般演題I	13:05 ~ 13:45	座長 兵藤 晋
[3] 一般演題II	13:45 ~ 14:35	座長 菊水健史
[4] ミニレクチャー	14:35 ~ 15:05	座長 尾仲達史
講師：宮道和成 理化学研究所・生命機能科学研究所センター		
[5] 休憩	15:05 ~ 15:20	
[6] 一般演題III	15:20 ~ 15:45	座長 森 建文
[7] 一般演題IV	15:45 ~ 16:10	座長 横田紀子
[8] 特別講演	16:10 ~ 17:00	座長 内田信一
講師：蘇原映誠 東京科学大学 医歯学総合研究所 腎臓内科学 (共催：ヤマサ醤油株式会社)		
[9] 表彰式	17:00 ~ 17:15	
[10] 閉会の辞	17:15 ~ 17:20	当番世話人 上田陽一

- ・ 一般演題は口演時間8分、討論4分とします。
- ・ 発表は、全てPCプレゼンテーションとします。
- ・ 演者は、研究会開始30分前に必ずPC試写を行い、正しく動作するかをご確認ください。
ラップトップPCをお持ち込みの方も必ず受付、試写をお願いします。
- ・ 世話人会を12時00分より開催します。

第35回 バソプレシン・オキシトシン研究会

当番世話人：上田陽一 産業医科大学 学長研究室
代表世話人：有馬 寛 名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学
世話人：内田信一 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 腎臓内科
　　輿水崇鏡 自治医科大学医学部薬理学講座 分子薬理学部門
　　兵藤 晋 東京大学大気海洋研究所
　　森 建文 東北医科薬科大学 医学部 内科学第三（腎臓内分泌内科）教室
　　尾仲達史 自治医科大学医学部生理学講座 神経脳生理学部門
　　横田紀子 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科
　　菊水健史 麻布大学 獣医学部 動物応用科学科
主 催：バソプレシン・オキシトシン研究会

会場案内

名 称：東京大学山上会館

所在地：〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

(東京大学本郷キャンパス構内)

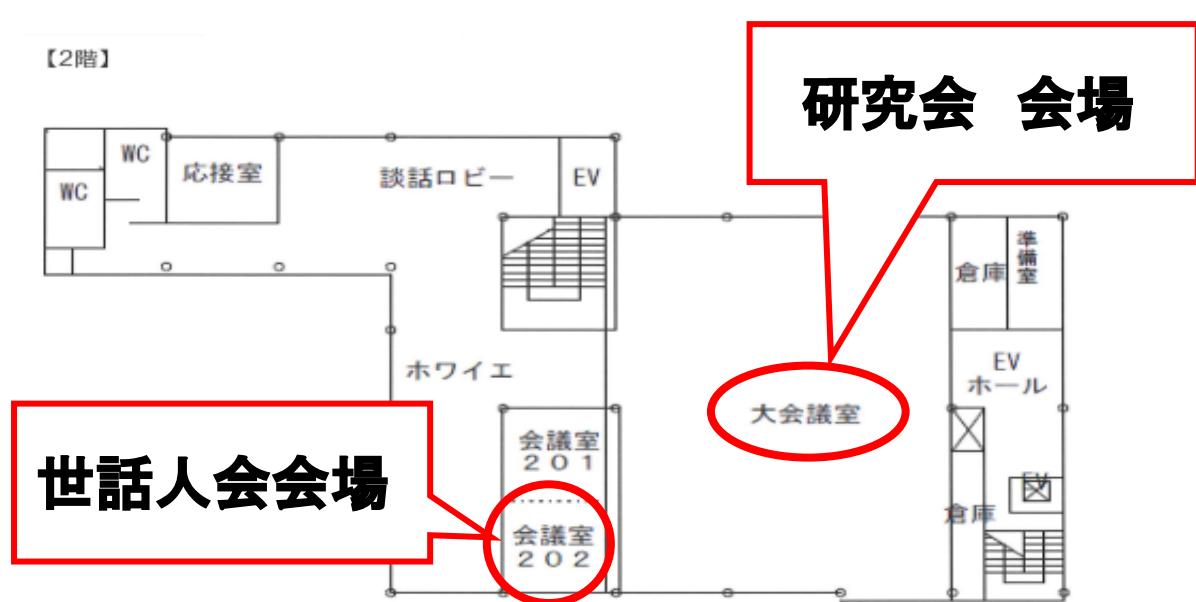
最寄り駅：東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線

「本郷三丁目」駅から徒歩で約 15 分



フロアマップ

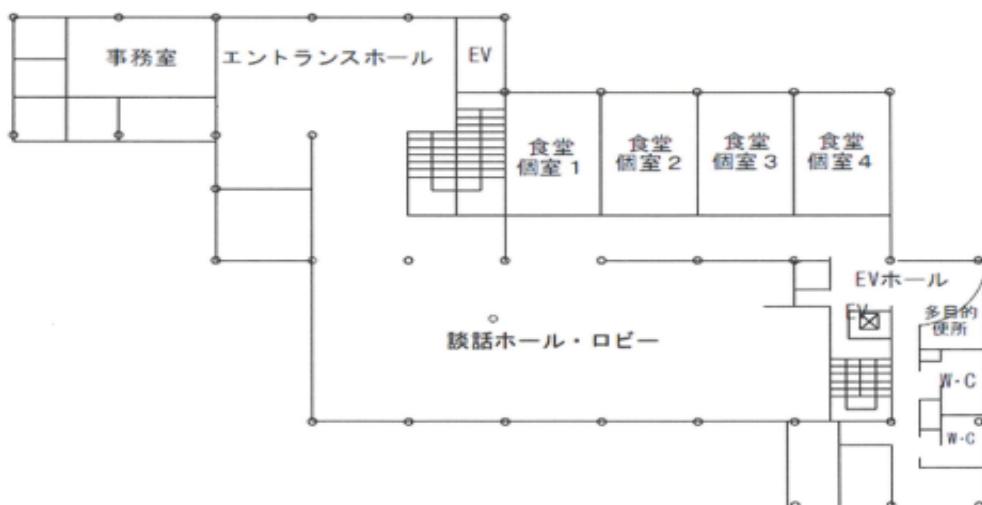
【2階】



研究会 会場

世話人会会場

【1階】



プログラム

[1] 開会の辞 13 : 00 ~ 13 : 05 代表世話人 有馬 寛

[2] 一般演題 I 13 : 05 ~ 13 : 45 座長 兵藤 晋

演題 I -1 V2 型パソプレシン受容体の構造-機能連関：進化の観点から

山口 陽子

島根大学学術研究院農生命科学系

演題 I -2 パソプレシン受容体欠損マウスにおける不安様行動の解析

輿水 崇鏡、Nyamsuren Bat-Erdene、Chortip Sajjaviriy

自治医科大学医学部薬理学講座分子薬理学部門

演題 I -3 マウスにおける撫で刺激の報酬性—オキシトシンによる報酬化促進とパソプレシン V1a 受容体による嫌悪性抑制

松浦 希美¹⁾、中村 和昭^{2),3)}、近藤 保彦¹⁾

¹⁾ 帝京科学大学大学院理工学研究科アニマルサイエンス専攻

²⁾ 国立成育医療研究センター再生医療センター

³⁾ 理化学研究所バイオリソース研究センター

[3] 一般演題 II 13 : 45 ~ 14 : 35 座長 菊水 健史

演題 II -1 Immunocytochemical Identification of Magnocellular and Parvocellular Oxytocin and Arginine Vasopressin Neurons in Mice **English Presentation**
Naranbat Nasanbuyan¹⁾, Masahide Yoshida¹⁾, Yuki Takayanagi¹⁾, Keiichi Itoi²⁾,
Tatsushi Onaka¹⁾

¹⁾ Division of Brain and Neurophysiology, Department of Physiology, Jichi Medical University, Shimotsuke, 329-0498, Japan

²⁾ Graduate School of Medicine, Tohoku University, Sendai 980-8575, Japan

演題 II -2 視床下部室傍核パソプレシン神経による摂食行動における生理的意義の解析

English Presentation

増田 雄太, 岩崎 有作

京都府立大学 大学院生命環境科学研究科動物機能学研究室

演題II-3 遺伝子改変ラットを用いたLPS誘発敗血症モデルに対するバソプレシンおよびオキシトシンニューロン活性化の効果

藤原 広明¹⁾, 丸山 崇¹⁾, 橋本 航¹⁾, 上野 啓通¹⁾, 上田 陽一²⁾

¹⁾ 産業医科大学 医学部 第1生理学

²⁾ 産業医科大学 学長研究室

演題II-4 オキシトシンと共感性の社会的調節および死別後悲嘆との関連

吉池 卓也、南學 正仁、高橋 恵理矢、矢島 智貴、内海 智博、長尾 賢太朗、河村 葵、栗山 健一

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部

[4] ミニレクチャー

14:35 ~ 15:05

座長 尾仲 達史

マウスにおいて父性養育行動を促進するバソプレシン-オキシトシン受容体クロストーク

宮道 和成

理化学研究所・生命機能科学研究センター

[5] 休憩

15:05 ~ 15:20

[6] 一般演題III

15:20 ~ 15:45

座長 森 建文

演題III-1 低ナトリウム血症を契機に診断された無飲性尿崩症(Adipsic Diabetes Insipidus)の一例

成田 大樹, 柳澤 真理恵, 古川 淑一郎, 小堀 勤子, 土肥 浩太郎, 竹内 牧,

佐藤 潤一郎, 槙田 紀子

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

演題III-2 腹膜透析中における体液恒常性破綻へのバソプレッシン(AVP)動態の関与

上野 啓通¹⁾、藤原 広明¹⁾、丸山 崇¹⁾、上田 陽一²⁾

¹⁾ 産業医科大学 医学部 第1生理学

²⁾ 産業医科大学 学長研究室

[7] 一般演題IV

15 : 45 ~ 16 : 10

座長 横田 紀子

演題IV-1 中枢性尿崩症診断補助ツールの構築－機械学習を用いたバソプレシン分泌不全予測モデル－

内藤 聰, 北村 征騎, 芦田 涼成, 川口 頌平, 宮田 崇, 萩原 大輔, 有馬 寛
名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

演題IV-2 バソプレシンシグナルの多様性と水制御を超えたLRBAの新たな役割の解明

English Presentation

安藤 史顕、長岡 可楠子、藤木 珠美、蘇原 映誠、内田 信一
東京科学大学 腎臓内科学

[8] 特別講演

16 : 10 ~ 17 : 00

座長 内田 信一

(共催: ヤマサ醤油株式会社)

遺伝性腎疾患研究が導く腎臓病診療の新展開

蘇原 映誠
東京科学大学 医歯学総合研究科 腎臓内科学

[9] 表彰式

17 : 00 ~ 17 : 15

[10] 閉会の辞

17 : 15 ~ 17 : 20

当番世話人 上田 陽一

パソプレシン・オキシトシン研究会会則

令和 5 年 1 月 10 日改訂
令和 4 年 1 月 12 日改訂
平成 28 年 7 月 1 日改訂
平成 20 年 1 月 12 日改訂
平成 17 年 12 月 9 日改訂
平成 16 年 12 月 7 日改訂
平成 15 年 7 月 1 日改訂

第 1 条（名称）

本研究会は、「パソプレシン・オキシトシン研究会」と称する（以下「本研究会」という。）

第 2 条（目的）

パソプレシンとオキシトシンに関する基礎的・臨床的研究の発展に寄与することを目的とする。

第 3 条（事業）

本研究会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 本研究会学術集会の開催（年 1 回）
2. 本研究会総会の開催（年 1 回）
3. その他本研究会の目的を達成するための必要な事業

第 4 条（会員）

本研究会の会員資格者は、パソプレシンとオキシトシンに関する基礎及び臨床研究を行っている者及びその指導に当たる者とする。

第 5 条（会費）

1. 本研究会の会員は所属、住所を登録し、年会費を納めるものとする。
2. 年会費の額は役員会において決定する。

第 6 条（役員）

1. 本研究会には、次の役員を置く。世話人：6 名程度、監事：1 名
 - 1) 世話人のうちから、「代表世話人」を 1 名選出し、世話人会・役員会の運営を総括する。
 - 2) 世話人のうちから、任期 1 年間の「当番世話人」を 1 名選出し、学術集会長として学術集会の企画・開催・運営及びプログラム・抄録集の作成を担当する。
1. 役員は世話人会で推薦し、役員会にて決定し、総会で承認を得る。
2. 役員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。但し満 65 歳になった場合、その年

度末で退任となり、以降は再任されない。

第7条（顧問）

1. 本研究会には顧問を置く。
2. 当該顧問は、世話人会歴任者とする。
3. 顧問は世話人会の諮問のあった事項について助言する。

第8条（役員の職務）

1. 代表世話人は、学術集会の開催毎に世話人会を開催し、会計報告、役員改選、その他の本研究会の運営に関わる事項について決議する。
2. 当番世話人は、学術集会の開催場所・日時・演題等の選出について、世話人会を開催し、ここに提案し、決議する。また、当番世話人は、プログラム・抄録集の監修を行う。
3. 監事は、本研究会の会計、資産、会務を監査する。

第9条（学術集会開催場所）

学術集会の開催場所は、原則として東京都内とする。また、開催時期は、原則として1月とする。

第10条（学術集会支給規定集）

学術集会開催における、謝礼、交通費、宿泊費等の費用の支給については、役員会において決定し、施行細則に記載する。

第11条（会計）

1. 本研究会の会計年度は、学術集会の開催日に始まり、次回開催前日に終わる。
2. 本研究会の経費は本研究会会員の年会費、企業協賛金等を以ってこれに当てる。

第12条（事務局）

本研究会の事務局は、代表世話人の所属教室に設置する。

第13条（会則の変更）

本研究会会則の変更については、役員会の議を経た後、総会において承認を得ることとする。

施行細則

第1条（年会費）

本研究会会員の年会費は500円とする（ただし、学生は無料）。また、学術集会参加費は1500円とする（ただし、学生は1000円）。会費収益金は、本会の運営費に充当する。

第2条 (支給規定)

学術集会開催における各経費の支給基準を次の各号のとおり規定する。

1. 交通費の支給対象者は、招待講演者、役員とする。その支給金額は、出発地から会場最寄り駅までの新幹線、航空機の旅費についてのみ実費とする。なお、グリーン料金・J クラス/スーパーシート等の料金は支給しないものとする。また、東京都が出発地である場合には旅費は支給しないものとする。
2. 宿泊費の支給対象者は、招待講演者のみとする。

第3条 (研究奨励賞)

学術集会において優れた研究発表に対し研究奨励賞を2件、優れた症例発表に対し優秀症例発表賞1件、優れた英語発表に対しBest English Presentation賞を1件選考する(件数はそれぞれ原則とする)。選考方法は、学術集会参加世話人全員の採点による。同点者が出了場合は、過去の受賞歴の無いもの、卒業年次が若い者の優先順位により選考する。さらに、決定し得ない場合は、採点を行った世話人全員の参加の下に協議を行い決定する。なお、賞金は、1件5万円とする。

第4条 (細則の変更)

本研究会の細則の変更については、役員会の議を経た後、総会において承認を得ることとする。

以上

役員名簿

代表世話人

有馬 寛 名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

世話人

内田 信一	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 腎臓内科
上田 陽一	産業医科大学 学長研究室
輿水 崇鏡	自治医科大学医学部薬理学講座 分子薬理学部門
兵藤 晋	東京大学大気海洋研究所
森 建文	東北医科大学医学部 腎臓内分泌内科
尾仲 達史	自治医科大学医学部生理学講座 神経脳生理学部門
楨田 紀子	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科
菊水 健史	麻布大学 獣医学部 動物応用科学科

顧問

黒川 清
猿田 享男
斎藤 寿一
山下 博
佐々木 成
根東 義明
石川 三衛
大磯 ユタカ
林 松彦
岩崎 泰正



生薬には、
個性がある。

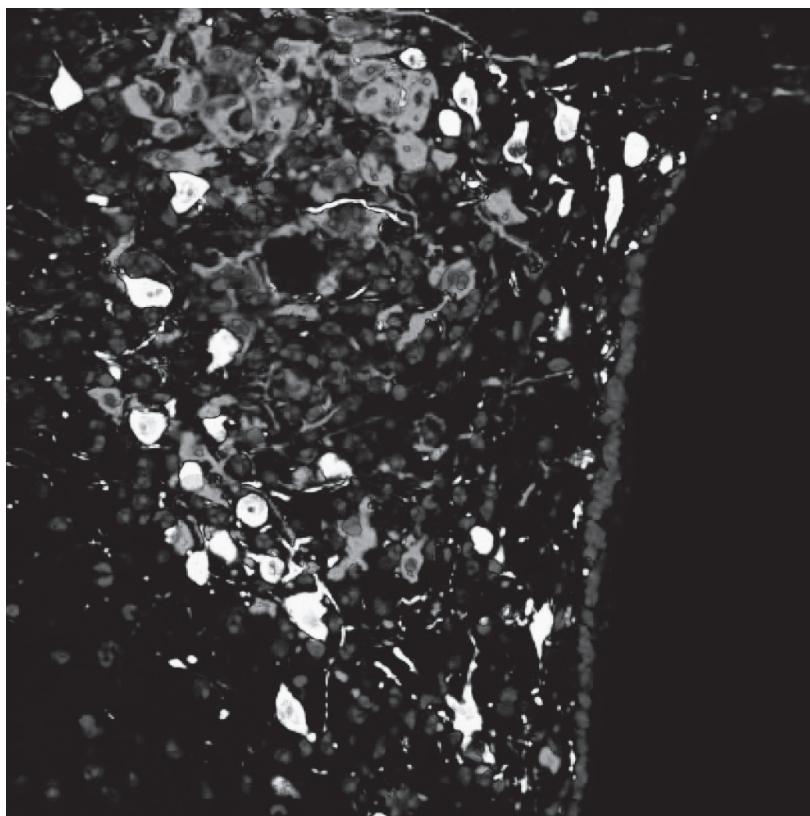
漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



多重染色に利用しやすいモルモット由来の抗オキシトシン抗体 **抗オキシトシン、モルモット**

「抗オキシトシン、モルモット」はオキシトシンに対するモルモット由来のポリクローナル抗体です。
免疫組織染色における多重染色などに使用することができます。



マウス視床下部室傍核の免疫組織染色

〈データ提供〉京都工芸繊維大学 応用生物学系 宮田先生

モルモット由来 神経科学分野マーカー抗体

当社ではモルモット由来の神経科学分野マーカー抗体のラインアップを増やしています。

「多重染色したいけど、違う動物種の抗体が見つからない」という研究者のお悩みを解決いたします。

- HuC/D
- パルブアルブミン
- CX3CR1
- MAP2
- シナプシン I
- P2RY12
- VGLUT1
- ラミニン
- オキシトシン

神経科学分野マーカー抗体一覧はこちら



富士フィルム 和光純薬株式会社

本 社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目 1 番 2 号
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号

試薬 HP <https://labchem-wako.fujifilm.com>

E-mail : ffwk-labchem-tec@fujifilm.com

営業所 : 北海道・東北・筑波・横浜・東海・中国・九州

謝辞

今回の開催にあたり、以下の方々及び企業・団体より多大なご支援を賜りました。
ここに御芳名を記し、厚く御礼申し上げます。

共催セミナー
ヤマサ醤油株式会社

広告
株式会社ツムラ
富士フィルム和光純薬株式会社

第35回バソプレシン・オキシトシン研究会 プログラム・抄録集

発行：令和7年12月19日

発行者：第35回バソプレシン・オキシトシン研究会

当番世話人：上田陽一

事務局：産業医科大学 医学部 第1生理学

〒807-8555

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL：093-691-7420

FAX：093-692-1711

E-mail: avpoxt35@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

主催：バソプレシン・オキシトシン研究会
